

平成 30 年度第 1 回海老名市文化財保存整備委員会 議事録

開催日時等	平成 30 年 9 月 17 日 (月) 10:00~12:30 於：海老名市温故館 2 階企画展示室
議 題	(1) 委員長、副委員長選出 (2) 史跡相模国分寺跡環境整備事業について (3) 史跡相模国分寺跡復元想定図について
出席委員	土生田純之、清水擴、青木敬、加藤仁美、鹿野陽子、長澤可也 委員 6 名全員出席
事務局	教育長 伊藤文康 教育部参事兼教育総務課長 中込紀美子 教育総務課文化財係長 押方みはる 教育総務課主査 今野まりこ 教育総務課主査 向原崇英
その他関係者	神奈川県教育委員会文化遺産課世界遺産登録推進グループグループリーダー 谷口肇

【議事前】

- ・会議前に相模国分寺跡を視察
- ・文化財保存整備委員会についての説明

【議事概要】

(1) 委員長、副委員長選出

委員長：土生田純之委員

副委員長：清水擴委員

(2) 史跡相模国分寺跡環境整備事業について

①事業概要／②案内板躯体の仕様と修繕について／③案内板の表示内容について

- ・案内板板面は耐久性を念頭に選定する。
- ・表記の用語は『発掘調査の手引』を参考に、一般にもわかる表現を工夫すること。
- ・案ができれば各委員に送ること。
- ・素材や意匠に何らかの脈略を持たせ、デザインや文字の統一を。
- ・設置場所や向きにも注意し、記念写真を撮った時、国分寺跡の雰囲気や温故館が背景に入るとよい。
- ・デジタルコンテンツはQRコードで付加する。発掘調査の写真などがみられるのはとても良い。
- ・整備計画について、長期計画も案をもって相談すること

(3) 史跡相模国分寺跡復元想定図について

- ・西側廊の柱下にも礎石を入れる。
- ・中門は基壇とするが外装の表現はしない。
- ・金堂は正面を開け放しでなく、扉と両側は連子窓とする。南廊の連子窓下の束は1本でよい。
- ・金堂の屋根の形は寄棟で鴟尾ではなく鬼瓦でよい。
- ・主要伽藍の区画溝は素掘り。
- ・CG化は可能だが、もう少し正確な情報や周りの様子がわからないと難しい

事務局 委員長 県	<p>(2) 史跡相模国分寺跡環境整備事業について</p> <p>現在までの史跡相模国分寺跡の調査・整備状況・今年度の案内板整備補修工事説明。</p> <p>案内板の修理・仕様が大事な点になります。一般的にどんなものが評判がよいか伺います。</p> <p>説明板は県内あちこちで作っています。ステンレスにそのまま印刷するものだと紫外線による色落ちが激しく、10年もすると読めなくなってしまう。陶板は色落ちしないが、衝撃に弱いので、国分寺跡ではおすすめでできない。茅ヶ崎市の相模川橋脚で地面に地図を表示しているものが、踏まれるような所にある割に、劣化は顕著ではないと思います。最近ではステンレスでも色落ちを防止するような方策が考えられているので様々なものを参考にいただければと思います。</p> <p>コストは陶板が高く一番安いのがステンレスに印刷かプラスチックだと思います。</p>
事務局 委員長 県	<p>今回はアルミ板にシートを張るようなものを予定しています。</p> <p>費用的にどうですか。何倍も違いますか。</p> <p>アルミ板の方が安いと思います。1.5倍とか2倍ぐらいではないでしょうか</p>
委員長	<p>可能かどうかご相談した方が。長い目で見たらその方がよいかもかもしれませんので。予算にも密接に絡むことなのであまり意見を言っても仕方ないかもしれませんが、もしご意見があれば。</p>
委員長 委員A	<p>それでは次の案内板の表示内容についての意見をお願いします。</p> <p>細かいことですが、近年の用語のあり方を文化庁の『発掘調査の手引』の発行で、寺院・官衙に関係する用語は集約されています。例えば、僧坊の「坊」は「房」です。「坊」は歴史的に違う意味を持つため、僧侶が居住する空間ということであれば房にしたほうが良いということになりました。「庇」も様々な構造があり、「廂」を使った方がよいだろうとなりました。大型掘立柱建物跡の案内板で坪掘地業という言葉がありました。今は基本的に「壺地業」で統一されていて、「つぼ」の字も「壺」がよいということになっています。ただ訪れる人が壺地業という表現を見てもわかりにくいと思うので、表現を工夫しないといけないと思う。</p>
委員長	<p>細かいところはそれぞれの方に見ていただいて、このまま発注することがないようにしていただきたい。建築のところで何か違和感がありますか。</p>
委員B 委員長	<p>そんなに違和感があるわけではないですが、文案ができてからですね。</p> <p>委員の見解が違う所があれば話し合わないといけないと思いますが、まずはそれぞれ文案を作ってもらいましょう。景観的には今のものを踏襲するとのことですが、違和感はありませんか。</p>
委員C	<p>素材の統一があった方がよいと思う。屋根付きの案内板は、残すものと同じ骨格デザインにそろえる方がよいかと思いますが、ご提案のものであればもう少し重厚なものの方がよいのでは。資料ではやや重厚感がないなと思ったので、残す他の素材と合わせた方がよいと思います。</p> <p>景観的なところで一番気になったのが、屋根の問題で重厚感があった方がいい。周辺と道路との関係はどうしようもないかもしれないのですが、今の段階で一番見やすい角度と位置を検討してほしい。モニュメント看板は少し高さをもたせ、見えやすい高さにする工夫してほしい。</p>

事務局 委員D	<p>モニュメント看板は土台があり、高さをもってつけるように検討しています。</p> <p>素材は脈略をもたせた方がいいと現地を見て感じました。素材は違っても金属部材のものは足が4本あり、奥行きがあって塊感が出ているので、大型案内板も4本足という案内板デザインを踏襲した形で工夫できればいいのかと思いました。図表の表現は当然統一されると思いますが、文字のデザインとか文字数なども統一を。大型の木製の案内板は新たに向きを90度変えるとのことで、裏面の使い方を考えたらいいのかとも思いました。また向きだけでなく位置を変えることで、周辺でどのようなことが起きてくるか、少し丁寧に検討してみた方がよいと思います。例えば低い土台の大きな名称の看板ができて、この周りで記念撮影をするとなると、知床国立公園では背景の壮大な自然景観に名称を入れて記念写真を撮るイメージだと思うのですが、国分寺跡では設置する位置とか向きについて、今は何も建っていないが基壇をいれて広い原っぱの景色、何もないけどそういうものがあつたのだなというのが背景に入るような感じで置いていただくのが重要かと思います。</p> <p>大型案内板は沢山の情報量が入る案内板だと思うので複数の人があるいは違うグループの人達がここで立ち止まって読むと思います。人が集まった時に車道にはみださないとか、写真を撮ること等を想定して、場所を工夫して、郷土資料館になっているこの建物が背景に入るようにするか、そういうこともご検討いただければと思います。直近にある電柱の支線も気になる場所ではありますけれども、もう少し広い範囲でご検討いただければと思います。</p>
委員E	<p>予算の問題で難しいかもしれないのですが、感覚的にはまず一番見せたい物をちゃんと見てもらいたいと思います。一番見せたいものというのは塔の部分だと思うんですけども、塔には看板はないのでしょうか？</p>
事務局 委員E	<p>塔にも既存の案内板があります。</p> <p>QRコードを入れるとのことですが、やるのでしたら塔とか金堂抜きにやるのはあまり効果ないんじゃないでしょうか？</p> <p>新設するモニュメント看板の位置ですが、写真を撮ることを考えると塔の基壇と一緒に入るような位置の方がいいのかなと。道路南側の場所の方が塔の基壇と一緒に写るのかなと。</p>
委員長 事務局 委員E 委員長	<p>確かにその辺もまた相談してご検討下さい。</p> <p>案内板の表示内容(外国語表記、デジタルコンテンツの方向性)について説明。</p> <p>この手法で役所のものにつけるとするのは市のHPとかにですか？</p> <p>今、海老名市の方でえび〜にゃというマスコットがあるのですが、そういう物を標識にして取り込むと休憩所がどこにあるとか食堂があるとか観光のものの中につけようという事ですね。もう一つの方は 民間の人とコラボしてお金はかかるけれどももう少し自由にやろうということですかね？映像は会議に間に合わせる為に急いで作られたわけで、中身が悪いとは思いませんが更に練った物にしていくものですね。いかがでしょうか。</p>

委員E	<p>素晴らしいと思います。まずQRコードで読み込んで説明のページに表示されますね、その下にリンクを貼っておいてクリックするともっとブラッシュアップした動画が再生されるという形にするとすごく解りやすいし、下に字幕を出して、できれば音声もあるといいですね。声で説明された方が臨場感ある。とにかくこの動画をもうちょっといい動画にしていけば。例えばこれがどこなのかということが分かれば、見に来た人は嬉しいんじゃないかと。</p>
委員長	<p>最近京都の大きなお寺に行きますと、部屋ごとに違う音声がある。そういうことに近いですね、そうすると解説を読まなくても音声で聞けますので、一番いいかと思います。</p>
委員E	<p>主となる塔の看板替えないで、QRコードもつけないのでしたら、とてももったいないと思います。</p>
委員長	<p>一度復元した基壇をやり直すと予算が莫大にかかるわけですけど、バーチャルで修正するのは、それよりかなりやり易いのかなとそういう期待を我々はもっています。</p> <p>まず本当にどういうものを作ったらいいのかということを詰めて、作り出した方がいいかなと。それはやっぱり絵をそのまま作るのではなくて、学術的なものを裏付けなくては意味がない。板面は案ができれば各委員に送ってください。</p>
事務局	<p>(3) 史跡相模国分寺跡復元想定図について 復元図案について説明。</p>
委員B	<p>西側の廊の柱の下の礎石をどうするかですが、南の廊は礎石があったのでしたっけ？</p>
事務局	<p>あります。</p>
委員B	<p>でしたら同じように揃えた方がいい。それから中門の基壇の表現は難しい。だけどこれは基壇を組んでいたのだと思いますけどね、中門ですから。金堂と講堂の貼石の基壇というのは凄く特殊な基壇ですよ。貼石については最近、平泉の無量光院っていう平等院の鳳凰堂を模して作ったというとても有名な建物を整備しているんですけど、発掘したらこれと同じような基壇が出てきた。時代は全然違いますがそういうのもあるということを確認しておいてもいいのかなと思います。これは講堂も金堂も両方とも同じだということだと思います。</p>
委員長	<p>表現の仕方として大岡先生と奥野先生が模型を作られて、金堂の正面側の南側の壁がない表現になっているのは唐招提寺の金堂をイメージしてやられたのだと思いますが、あまり一般的ではないです。講堂と同じで、両側が連子窓になって真ん中の五間が全部扉という形にした方がいいだろうと思います。南の廊の連子窓の下には一般的に束がありますからこの形でいいと思います。</p>
委員A	<p>基壇についてこの復元等について何か違和感とかありますか？</p>
委員A	<p>違和感はありません。貼石の基壇に飛鳥の水落遺跡という漏刻の遺跡がありますね、あそこは掘立柱で地中梁がある構造なので、礎石建物ではないですけど。あれも非常にゆるい傾斜の基壇</p>

	<p>を巨大な貼石を持っている基壇ですので、近いイメージなのかなと。実際に古代に例がありますのでいいと思います。</p> <p>中門に関してはデータが少ないので基壇外装がどうだったのかとか難しい。あまりはっきりと書かなくて、このぐらいが今のところ妥当だと思います。</p>
委員E	雨落ちはないのでしょうか。
事務局	周辺は砂利敷きになっています。
委員長	この復元図が学術的にきちりしたものであれば、CGの復元はできるのですか。
委員E	十分な時間があればということでも。ただはっきりしてないと物は作れないです。例えば中門のようにわからないところも、決めないと書けない。
委員長	これは寺だけじゃなくて周辺景観をいれたことにも意味があると思うのですけれども、そういう点では何かありますか。
委員C	地図にある情報は非常に重要ですよね、船着き場や逆川も落とし込むとよいのではないのでしょうか。
	以前に都市計画学会で街づくりグッズを集めたことがあり、その時に面白かったのが、透明な下敷きに昔の景観をプリントし、透かしてみるものがありました。昔こうなっていたのだということが分かるという事で、そういうものも良いと思いました。
委員D	ワクワクして聞いていたのですが、データとしてあれば、クルッと回したり上から見たりと色々なことが出来るわけですよね？人が歩いたり鳥が飛んだり、ちょっとしたものを動かしたりできるのですか。
委員E	動く物はデータが重くなるのでコンピューターにすごく負担がかかります。
	伽藍の中には木や灯籠等何にもないのでしょいか？
委員B	基本的には植物は植えてない。
委員A	堂の前に幢竿支柱という儀式の際に旗を立てる物が例えば武蔵国分寺等で出ていますが、全部にあるとは限らない。堂の前面の調査がどれだけされているということになるかと思いますが、基本的には旗指物以外はあんまりないですね、灯籠は石灯籠であれば基礎が出ている例はありますがそれもお寺によりけりです。
委員長	東大寺の前も広いですが、儀式の時に人が集まるので邪魔な物はおかないというのが基本になっていると思います。
委員E	CGを作る時に引いて見たときに周りが何もないと作りにくい。
委員D	画像が切り替わった時点で周辺は現代のものが線描で出てくるようなものはおかしいですか？
委員E	現代の風景と重ねて行ったり来たりというのはやってみたいですが、古代の周りが何にもないのは難しい。

委員長	考古学は木や草花が遺構として認識出来ないことが多いので。花粉分析しないとわからないですが、他の遺跡などで一般的な範囲ではある程度、想像できるかもしれません。金堂の屋根、鬼瓦や鴟尾についてご意見ございませんか？
委員A	寄棟なの入母屋なのかすごく難しい、どれぐらい道具瓦が出ているのかによると思う。
事務局	金堂と講堂は瓦がほとんど出ていません。
委員長	瓦がないからといって瓦葺でなかったということはなかなか言えない。棟のところだけ瓦というところもあるんですけど国分寺でそれはなかなか考えにくいという気がします。復元するのに上だけが瓦であとが檜皮葺では格好がつかないという気もします。
委員B	国分寺で瓦葺ではないという、確認出来ている例はあるんですか？
委員A	ないですね。
委員長	ここは考古学にとっては分類が比較的単調かなという気がしますけどね、鴟尾にするか鬼瓦にするかなかなか大きな決断です。
委員E	屋根の形は入母屋ではなく、寄棟でよいですか。
委員A	格式で言うとおそらく寄棟の方が高いと思います。鴟尾がついている屋根としても金堂が寄棟というのは、そういうところも考えられて復元がされていると思う。開け放しかどうかはそんなに異論が出るものではないであろうと思います。
委員B	当時の屋根がどういう屋根だったかというのは分からないですからね、寄棟しておけばいいかなと思います。
委員E	寄棟で鬼瓦はありますか？
委員長	破片は出ているんですか？
事務局	鬼瓦は出ています。
委員長	西日本は鴟尾が多いですよ、
事務局	区画溝は素掘りでいいかどうか。
委員A	素掘りが多いですね、版築とか築地に土を転用する為にも掘っている。
委員長	素材の問題とか周りの問題とかその辺は事務局で案を作って次回示してもらって、文章はできた時点で各委員に送ってもらいたい。
委員B	この整備計画は年次計画があるのですか。
事務局	基本的には相模国分寺跡環境整備基本設計に基づいて進めていますが、年次スケジュールがない。今、文化財保護法の改正で地域計画や個別計画ということが規定されますので、今後作っていきたい。案内板については急ぎであったため、昨年計画を作ったのでこのまま進めたい。
委員B	案内板に関しても例えば金堂の跡には説明版がなく、いくつかまだ補充しないといけないのではないか。
事務局	案内板の年次スケジュールは示していますが、金堂は35年度の計画で、面的な整備に入るとき

委員長	に設置したい。 今回やったものが以後基準になるのは間違いない。また年次によって違うものにならないように。長期計画については出来次第またご相談下さい。
委員D	デジタルコンテンツの付加はとても面白かったと思います。CGより前に、どんな風に発掘したか見られるのはとても良い。なぜこのような整備をしているのかもわかるとよいです。
委員長	見せるということは重要。学問的な異論もありますがバーチャルなら作り直しができます。やはり何か見ていただかないと意味がないのではないかと思いますので、非常に期待しています。
委員E	今年度はQRコードで、将来的にはグレードアップしていければよいと思います。
委員長	大変とは思いますがよろしく願いいたします。